

令和8年4月1日

報道機関各位

長岡市環境部環境政策課長  
長岡市消防本部消防総務課長

# 消防庁舎の防災力強化にも寄与！ 太陽光発電設備とガスコージェネレーションシステム によるエネルギー供給を開始

長岡市は、2050年カーボンニュートラル実現に向け、さまざまな取り組みを進めています。

このたび、その取り組みとして、再生可能エネルギーの導入とエネルギーの地産地消を目指し、消防本部庁舎における太陽光発電とガスコージェネレーション（以下、「CGS」）を組み合わせたエネルギー供給事業を開始しました。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知にご協力いただきますようお願いいたします。

## 太陽光発電設備導入・エネルギーサービス事業を開始

- 事業者 北陸ガス株式会社 代表取締役社長 敦井 一友  
(新潟市中央区東大通 1-2-23)
- 事業開始日 令和8年4月1日(水)
- 導入施設 長岡市消防本部庁舎(長岡市千歳 1-3-100)
- 事業概要

導入設備	契約方法	事業期間
太陽光発電設備 75.075kW	電力供給契約(PPA <sup>*1</sup> 方式)	令和27年度まで20年間
停電対応型CGS <sup>*2</sup> 150.00kW	エネルギーサービス契約 <sup>*3</sup>	令和22年度まで15年間

### 5 導入効果

再生可能エネルギーである太陽光と地域資源の天然ガスを活用した発電・排熱システムを合わせて運用することで、従来と比較して1年間で約100万円の経費と56トンのCO2の排出量の削減が見込まれます。

### 6 その他

PPA方式による太陽光発電設備の設置に対し、環境省の重点対策加速化事業を活用し、設備導入費用の1/2を補助しています。

※注釈については別紙参照

問い合わせ

(脱炭素の取り組みについて) 環境政策課 近藤 TEL 0258-24-0528

(設備について) 消防本部消防総務課 近藤 TEL 0258-35-2192

※1：PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

発電事業者（PPA 事業者）が、太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気を供給する仕組みであり、「第三者モデル」とも言われます。

※2：停電対応型 CGS

ガスエンジンなどにより電力と熱を供給するシステムです。電力と排熱の両方を有効利用することで CO<sub>2</sub> 排出量の削減、省エネルギーによる経済性向上が図れます。通常時は電力会社からの電力と CGS の発電電力を系統連系し、お客さまの電力需要の一部をまかない、災害などで電力会社からの電力供給が停止した場合は、停電対応型 CGS を自立起動し、電力供給を行うことが可能になります。

※3：エネルギーサービス（ES）

サービスを提供する事業者が、自身の費用によりお客さまの需要に合わせて最適な設備・システムを設計・設置、所有した上で、事業開始後は遠隔監視やフルメンテナンス対応などを行い、最適運用支援を実施するものです。



<太陽光発電設備>



<停電対応型 CGS>